

はーと なび

社団法人 全国腎臓病協議会 〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-20-9 巣鴨ファーストビル3階
TEL03-5395-2631 FAX03-5395-2831

全腎協 パブリックコメント提出 高齢運転者等専用駐車区間 利用対象に透析患者を

来年4月に導入が予定されている高齢者ドライバー等を利用対象者にした専用駐車区間（高齢運転者等専用駐車区間）について、全腎協はパブリックコメントを提出し、利用対象者に透析患者を含めるよう求めました（提出文書は添付別紙をご覧ください）。

同駐車区間は駐車場が不足している官公庁や病院等の周辺道路に駐車レーンの一部を変更して設置され、利用者は専用の標章をダッシュボードなどに掲示して駐車するというものです。また、専用駐車区間にはそのことを示す標識（図1）が設置されます。現在想定されている利用者（標章の交付対象者）は、70歳以上の高齢者、妊婦、

聴覚障害または肢体不自由を理由に条件付の普通自動車対応免許の交付を受けている障害者で、いずれも自身で車を運転する人です。



標章車専用

図1：高齢運転者等専用駐車区間の標識

全腎協では多くの透析患者が自ら自家用車を運転して通院している現状をもとに、年齢にかかわらず透析患者を専用駐車区間の利用対象者とするよう警察庁に意見を提出しました。

警察庁はよせられた意見をふまえ、年内に最終的な利用対象者等について定める予定です。

全腎協 通院送迎始める団体向け手引きの作成開始

全腎協ではこれから通院送迎活動を始めようとする団体がスムーズに活動に取り組めるよう、ボランティア送迎のノウハウをまとめた手引きを新たに作成することを決め、そのためのワーキンググループ（WG）を発足させました。

WG発足のきっかけの一つは、先日開催の第7回通院介護支援事業交流会において複数の参加者から“送迎活動を始めるためのマニュアルがほしい”

との要望がよせられたことでした。また、全腎協はすでに1998年に通院送迎活動入門書「通院送迎ボランティア活動ガイド」を発行していますが、発行から10年以上が経過し、内容等の改訂が必要となっていることも新たな手引きが必要であるとの判断につながりました。

WGは来年度中の手引き発行を目指し、「はーとなび」ではその活動状況を定期的にお伝えしていきます。

各地のトピックス

佐賀「ふれあい」福祉有償運送登録へむけて活動（佐賀）

佐賀「ふれあい」は現在福祉有償運送の登録にむけた準備を行っており、その一環として所属運転ボランティア約20名が12月6日と13日の二日間にわたり合同で認定講習を受講しました。二週にわたる講習はいずれもNPO法人「ほほえみながさき」によるもので、全員が無事に認定講習を修了しました。

「ふれあい」は道路運送法改正後、いわゆる「無償」での送迎活動を行ってきましたが、より安定的に活動を行うためには福祉有償運送の登録が必要ではないかとの考えから検討を重ね、今年に入り今後は福祉有償運送として通院送迎を行う方針を固めました。

「ふれあい」では年明けに運行管理責任者が必要な講習を受けた後、2月から始まる運営協議会に臨み、来年夏前の福祉有償運送登録完了を目指します。

事務局より 認定講習実施機関一覧表について

国交省より最新の認定講習実施機関一覧表（12月4日現在）が発表になりました。同一覧を添付いたしますので、詳しくはそちらをご覧ください。

なお、前回添付の一覧のなかで「福知山BGM福祉サービス」の住所が間違っていて表記されていました。今回は正しい住所が記載されておりますので、ご報告申し上げます。

「ジャスミン」の新規事業 難病患者の旅行支援（兵庫）

兵庫県神戸市で活動するNPO法人「ジャスミン」は通院送迎活動で得た経験を生かし、新たな事業“旅行支援事業”に取り組んでいます。

旅行支援事業とは、旅行で神戸を訪れる透析患者や難病患者に、駅やホテルから観光スポット・病院までの移動支援を行うというものです。

「ジャスミン」によれば、同団体が活動する神戸市は国内有数の観光地ですが、せっかくの旅行でも市内の移動が困難なために観光をあきらめる難病患者が多く、また移動をするにも付き添う家族の負担が大きくなりがちです。旅行支援事業は、そのような旅行者の手助けができればとの思いから始まりました。「ジャスミン」では同事業は通院送迎活動のさまたげにならない範囲で行っていくが、将来的にはバリアフリー度の高い観光地やレストラン、透析施設などを組み合わせる旅行コーディネート支援等も検討したいとしています。

透析患者・難病患者の旅行支援事業についてのお問合せは
NPO法人 ジャスミン まで

TEL & FAX :
078-252-0633

